

今月の御教え

人間は、天地の間に生きておりながら、そのおかげを知らない。神仏の宮寺も人間の家屋敷も、皆神の地所である。そのわけを知らないで、方角日柄ばかり見て無礼をし、前々からの巡り合わせで難を受けている。

……「天地は語る」第七十条……

解説

人は皆、この天地宇宙を司る、天地金乃神様から人体を受け、御霊を分けて頂いてこの世に生まれ出て、日々天地の調べてくださる食物を頂いて命をつないでいるのであります。

しかし、人は、その事を知らず、自分でこの世に生まれ、我が力で生きているように思い込み、勝手に人間の考えで、この広大な天地に筋を引いて、方角や日柄の吉凶を作り上げていきました。そうして、いつしか、それがあたかも天地の真理のように思い込み、生活に不可欠なものとなりました。しかし、そのことで、かえって日常の生活が著しく規制され、苦しんでいる人間の有り様を、天地の親神様が深く悲しみ嘆かれて、私達人間を救う為の真の教えを伝えるために金光大神様をこの世に遣わされたことを示されたのが、この御理解であります。